

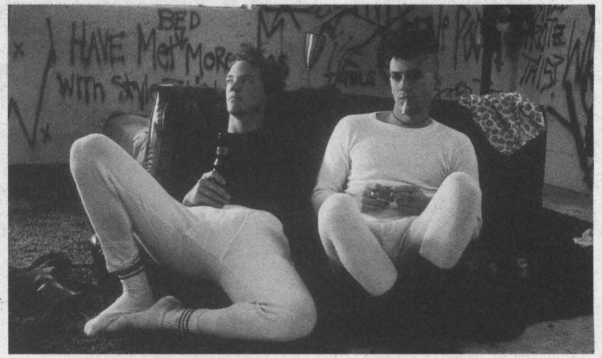


# SLO PUNK!!!



Stevy **Matthew Lillard** Bob **Michael Goorjian** Trish **Annabeth Gish** Sandy **Jennifer Lien**  
Father **Christopher McDonald** Sean **Devon Sawa** Mike **Jason Segel** Brandy **Summer Phoenix** John the Mod **James Duval** Mark Til **Schweiger**  
writer and director **James Merendino** producer **Sam Maydew + Peter Ward** executive producer **Jan De Bont + Michael Peyser + Andrea Kruzhage**  
director of photography **Greg Littlewood** production designer **Charlotte Malmof** costume designer **Flora** editor **Esther P. Russel**  
Disubted by **PONY CANYON** Special thanks to **SLOW LEARNER** U.S.A. / color / 35mm / 97min. / DOLBY

# SLC ソルト・レイク・シティ PUNK!!!



## ジェームズ・メレンディノ監督作品

マシュー・リラード マイケル・ゲールジャン アナベス・ギッシュ  
ジェニファー・リーエン

脚本+監督:ジェームズ・メレンディノ/製作:サム・メイデュール+ピーター・ワード/製作総指揮:ヤン・デ・ボン+マイケル・ベイサー+アンドレア・クルザーゲ/撮影:グレッグ・リトルウッド/美術:シャルロット・マルムロフ/美術:フィオラX、編集:エスター・P・ラッセル

配給:ボニーキャニオン+スローラーナ  
1999年/アメリカ映画/カラー/35mm/97分/ドルビー

Including Great PUNK Rock Tune!!!

Ramones, Exploited, Generation X, Dead Kennedys, Adam Ant, Adolescents, The Stooges, The Velvet Underground, Fear, The Specials, Blondie, Fifi, ...and many more!!!

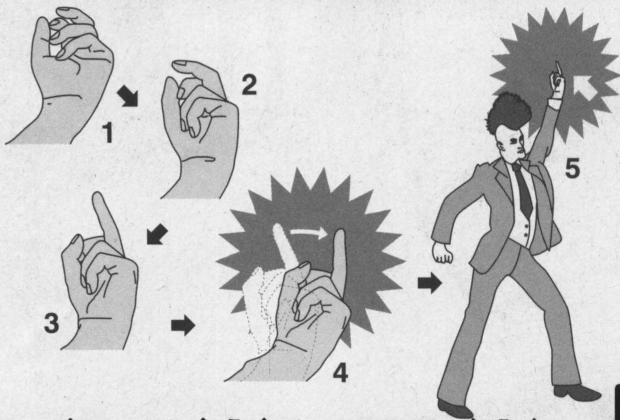
古くは『時計仕掛けのオレンジ』、近頃だったら『トレイン・スポッティング』。この作品が、そこまでの名作になるかどうかは判らない。それでも、パンクにシビれる連中には、愛さずにはいられない映画になるだろう。「文句があるか?俺達にはパンクだ!」そのセリフだけでもう決まりだ。そんなイカしたワンシーンすらない映画が、世の中には蔓延しているのだから。

ヒカゲ・アキラ(ザ・スタークラブ)

映画のラストでデッド・ケネディーズの名曲「KILL THE POOR」を流してみせる姿勢だけで、ボクはこの映画を全面支持する! 貧乏人はブチ殺せ! ガキをどつけ!

吉田豪(パンク・コメンテーター)

## 清く正しい指の立て方



3 / 2 4 (土) ~ 3 0 (金)  
= 11:20 / 3:00 / 6:40

3 / 3 1 (土) ~ 4 / 6 (金)  
= 1:10 / 4:50

これは、2匹のPUNKSの物語。

すばらしい街でパンクをやるのはキビしいし、

真のアナキーな人生は大変だ…。

オリジナル以上にカヴァーがお気に入りになった経験はありませんか?

これは「トレイン・スポッティング」のラモーンズ的解釈による(ずーっと同じようなことばかりするという姿勢)パンク・カヴァーバージョンなのです!

スティーブとヘロイン・ボブは、パンクス。アメリカはユタ州ソルト・レイク・シティ。この街でパンクスをやるのはキビしかった。アナキーな人生をおくろうと思ったのに、SLC(ソルト・レイク・シティ)は、人々は優しくおとなしい、すばらしい街。ファッション・パンクスに、ハーバード大へ進学しろとつこい父。ライブにハッパにパーティーにネオ・ナチとの喧嘩に明け暮れる日々。ダチはホームレスになったり、街を出て行って、気がつけば、最終に残ったのは俺たち二人。いったい何やってんだか。憂鬱が俺の胸に押し寄せる。華麗なる人生の浪費を決め込もうと思ったのに、現実…。イジけた14歳のガキの頃、俺たちが見つけた“新しい世界”。それがパンクだったんだ! これから、どうなっちゃうんだろう? 俺たちの世界。俺たちのパンク…。

「放火に暴動、でもユーモアさえずれなきゃ、なんでもOK!」(監督談)

これぞパンク! 監督は、若干30歳のジェームズ・メレンディノだ!

パンク愛に満ちた監督のジェームズ・メレンディノは、イロイロ資料を調べたところ、監督歴6本にして30歳ソコソコの新進監督。それだけなら「オッ、やるじゃん!」と思うかもしれないが、ビデオ店の叩き売りが似合いそうな映画を連発。でも、今回は結構頑張ってる(と思う)。「今までの作品は、オトナ社会の歯車から抜けられず、引き受けざるを得なかったお仕事だったのか?」

少ない予算とスケジュール、愛のないスタッフ、ポロポロになる自分と作品…。ある日メレンディノはズルムケた。「クソツタレ、こうなったら好きなように撮ってヤル!」パンク魂が炸裂!そして本作誕生!』というのは、今勝手に浮かんだ適当なこの映画のバックグラウンド。監督にとって、起死回生の1本となった、かもしれない。

プロデューサーのヤン・デ・ボン(実は「スピード」の監督)さん、メガヒット路線ばかり突っ走らないで、こういう映画を連発して下さい。

パンクとは何か?その答えを求め青春をさまよう主人公スティーブを演じているのは、『スクリーム』(96)でブレイク中のマシュー・リラード。モヒカン男、ヘロイン・ボブ役に、『リビング・ラスベガス』(95)など、いろんな映画に出ている隠れた売れっ子で、エミー賞も受賞した演技派マイケル・ゲールジャン。ポヘミアン・キーン、ポップの女神トリッシュ役のアナベス・ギッシュは、活躍の場は主にTVなので日本では彼女の姿を拝むことが出来ない(残念でした)。そして、なんとプロデューサーは、『スピード』(94)、『ツイスター』(96)とビッグバジェット&メガヒット路線を突っ走るのヤン・デ・ボン。よしっ、これからは、つま●●●『●●●●2』や『●●●●●●●●』なんか撮らずに、こういう映画を連発してくださいネ。



ホワイトイ梅田泉の広場M-10右と上る乗5分  
**扇町ミュージアムスクエア**  
06-6361-0088 www.oms.gr.jp

前売鑑賞券¥1400にて好評発売中!!(当日一般¥1700の処)

ファッキンジャパニーズパンクススカモ〜ン!!!